

年 組 名前:

問1

昭和町の洋菓子店に、バウムクーヘンを扱う自動販売機が設置されました。

・どこに:

・何 台:台

問2

この自動販売機は、バウムクーヘン以外に、なにを販売していますか。

.....

.....

問3

自動販売機を設置することでの、購入者と店側のメリットを教えてください。

・購入者:

.....

・店 側:

.....

問4

今後、自動販売機をどのようにしたいと考えていますか。

.....

.....

バウムクーヘン 24時間購入OK

「ザ・エレン昭和店」に自販機

イーファイト（南アルプス市沢登、保坂栄一社長）は、運営する洋菓子店「パティスリーザ・エレン昭和店」（昭和町の営業時間外にも利用ができ



バウムクーヘンを扱う自動販売機
＝昭和町飯喰

和町飯喰）にバウムクーヘンを扱う自動販売機を設置した。毎日24時間稼働し、店舗の営業時間外にも利用ができ

る。同社によると、県内でバウムクーヘンを扱う自動販売機は珍しい。昭和店の倉庫を改装し、自動販売機を5台設置。一般的なソフトタイプのほか、表面はカリッと焼き上げたハードタイプのバウムクーヘンを用意。形が崩れるなどしたアウトレット商品もある。バウムクーヘンのほか、フィナンシエやドーナツ、同社が運営するレストランの冷凍ハンバーグなども並ぶ。

購入の際は専用のアプリをダウンロードした上で、クレジットカードなどを登録。自動販売機の扉に設置されたQRコードを読み込むと扉のロックが解除され、商品を取り出し扉を閉めると自動的に決済される。専用の手提げ袋も用意され、「袋に入れれば贈り物としても最適」（同社担当者）という。

購入の際は専用のアプリをダウンロードした上で、クレジットカードなどを登録。自動販売機の扉に設置されたQRコードを読み込むと扉のロックが解除され、商品を取り出し扉を閉めると自動的に決済される。専用の手提げ袋も用意され、「袋に入れれば贈り物としても最適」（同社担当者）という。

従業員の労働時間の削減につなげ、店の営業時間外の購入需要に応えようと自動販売機を導入を決めた。導入に合わせた、午前10時～午後7時だった営業時間を午後6時までに変更した。

5月中には予約したケーキの受け取りも自動販売機でできるようになる。同社の担当者は「いつでもエレンのバウムクーヘンを楽しんでもらえるようになった。好評であればエレンが未出店の地域に自動販売機を設置することも検討していきたい」と話している。

〈山本昂輝〉

(2024年5月21日付 山梨日日新聞7面)